

2022年3月期第2四半期決算 通期業績予想及び配当予想の修正

2021年10月29日

伯東株式会社

(単位:百万円)	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	増減(△印減)	
			差異	比率
売上高	75,619	91,428	15,809	20.9%
売上総利益	8,694	11,708	3,014	34.7%
営業利益	1,653	4,171	2,518	152.3%
経常利益	1,521	4,155	2,634	173.0%
四半期純利益	1,014	2,849	1,835	180.8%
(四半期包括利益)	2,478	3,869	1,391	—
1株当たり純利益	49.33円	140.02円	90.69円	—

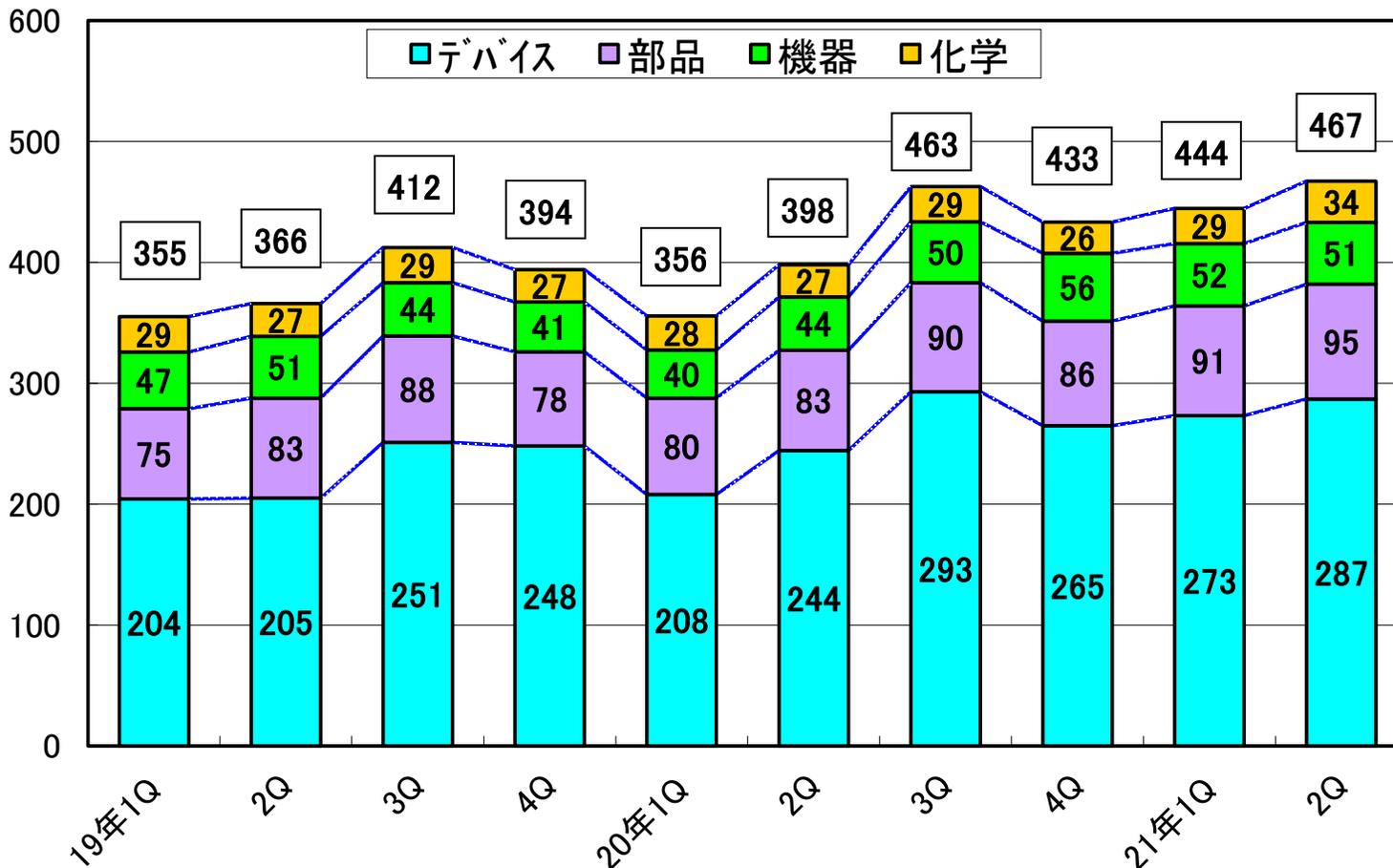
《当四半期業績の概要》

◇半導体需要の急拡大により、
取扱いの電子部品、電子・電
気機器が大幅に伸長

◇売上伸長に伴う利益増加に
加えて、為替動向も外貨建て
輸出取引の収益改善を後押し

◇販管費は、人件費の増加に
より、前年同期比7.0%の増加
ただし、出張費等の活動経費
は、変異ウイルス感染拡大の
影響により、前年2Qと同水準
に留まる

(単位:億円)



《分野別売上高の推移》

- ◇化学:工業薬品、化粧品関連製品ともに堅調
- ◇機器:半導体関連の設備投資活発化に伴い、ICパッケージ用露光装置や真空機器が伸長
- ◇部品:車載用液晶部材、及びPC・民生用コネクタが伸長
- ◇デバイス(IC):民生・産業機器分野及び車載関連分野の需要が急拡大も、供給不足によりリードタイムが長期化

(単位:百万円)		21/3期 2Q	22/3期 2Q	増減
電子部品	売上高	61,460	74,534	13,074
	セグメント利益	475	1,825	1,350
電子・ 電気機器	売上高	8,414	10,280	1,866
	セグメント利益	610	1,286	676
工業薬品	売上高	5,473	6,344	871
	セグメント利益	477	938	461
その他	売上高	630	614	△ 16
	セグメント利益	155	152	△ 3
合計	売上高	75,979	91,773	15,794
	セグメント利益	1,719	4,202	2,483

《セグメント情報の概要》

◇電子部品: 民生・産業機器分野及び車載用途ICや一般電子部品が増収/販売増加に伴う利益増加及び為替影響による収益改善により増益

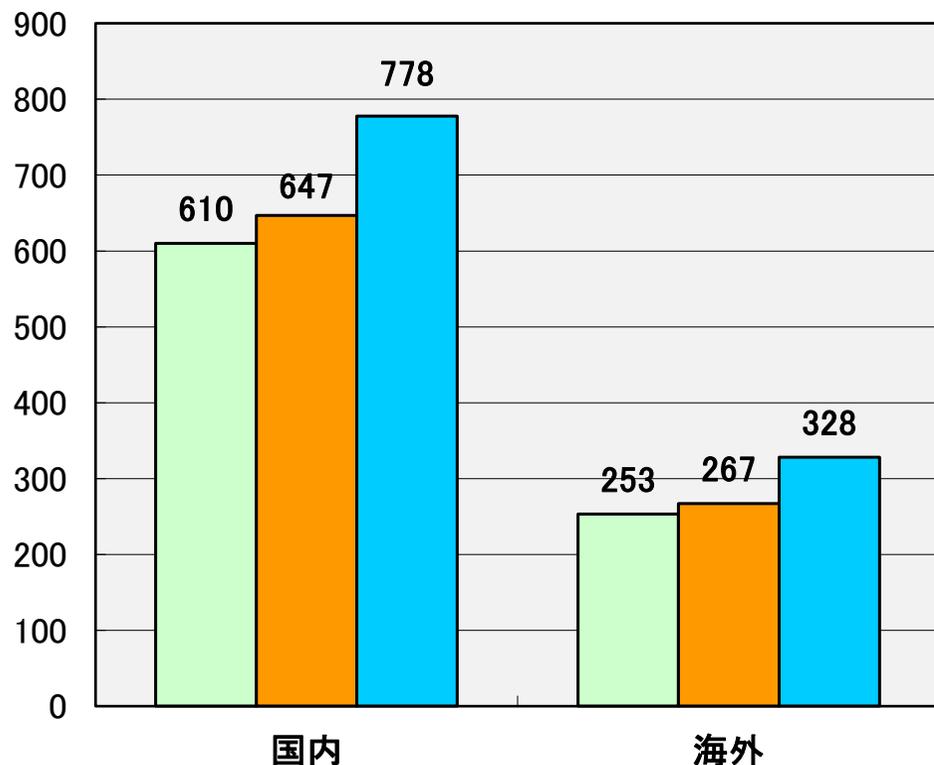
◇電子・電気機器: 半導体関連の設備投資活発化によりPCB関連や真空機器が増収/自社ブランド装置の販売伸長により増益

◇工業薬品: 顧客プラントの稼働回復と化粧品関連製品の伸長により増収/自社製品の販売伸長により増益

※1. 売上高はセグメント間内部取引消去前(同一セグメント内取引は相殺済)の金額

※2. 22/3期より従来「電子部品」に区分していた太陽光発電事業を「その他」に区分変更
21/3期2Qも変更後のセグメント区分で記載

(単位: 億円) 売上高(単純合算)



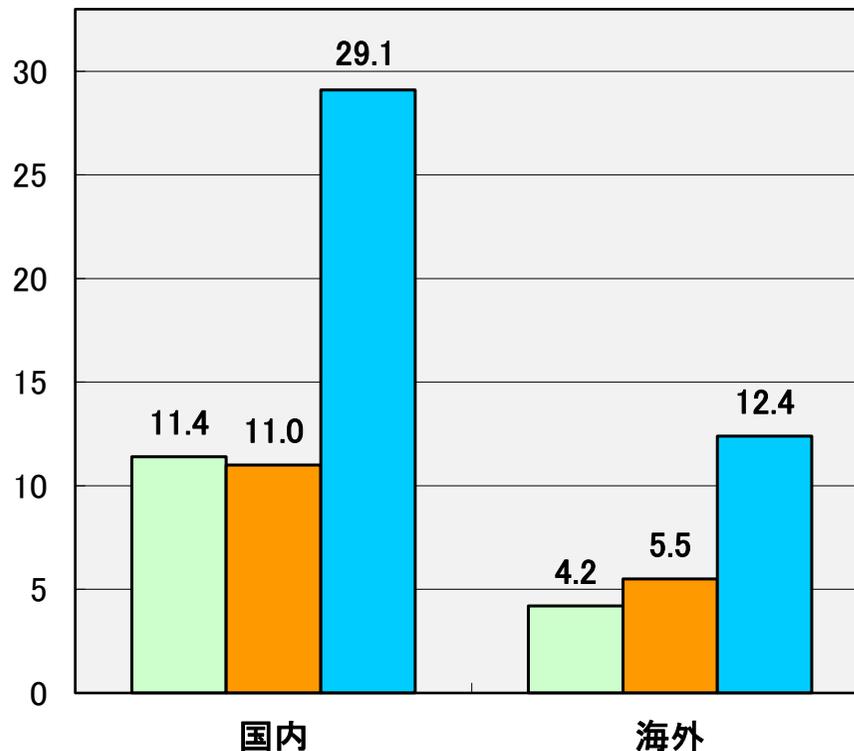
国内(伯東+連結子会社3社)

伯東、モルテック、HAL、HLS(2021年4月に吸収合併)

海外(連結子会社9社):

伯東香港、上海、台湾、シンガポール、タイランド、他4社

(単位: 億円) 営業利益



□ 20/3期2Q実績

■ 21/3期2Q実績

■ 22/3期2Q実績

(単位:百万円)	21/3期	22/3期 2Q	増減 (△印減)
総資産	116,422	120,032	3,610
内:現預金	17,867	18,765	898
内:売上債権	43,978	45,948	1,970
内:たな卸資産	32,179	35,544	3,365
内:投資有価証券	8,409	9,865	1,456
総負債	58,403	59,596	1,193
内:仕入債務	19,079	19,976	897
内:有利子負債	29,360	31,237	1,877
純資産	58,018	60,435	2,417
自己資本比率	49.8%	50.3%	—

《主な増減理由》

- ◇現預金:連結キャッシュ・フロー参照
- ◇売上債権:21/3期に比べ直近6ヶ月間の売上高が増加
- ◇たな卸資産:半導体デバイスの販売在庫の増加
- ◇投資有価証券:保有株式の株価上昇(新規取得は0.5億円)
- ◇有利子負債:長短借入金の増加20億円
- ◇純資産:利益剰余金の増加21億円
 その他有価証券評価差額金の増加9.9億円

(単位:百万円)	21/3期 2Q	22/3期 2Q	増減 (△印減)
営業キャッシュ・フロー	1,527	741	△ 786
投資キャッシュ・フロー	△ 136	△ 243	△ 107
財務キャッシュ・フロー	866	338	△ 528
換算差額	△ 23	62	85
現金・現金同等物の 増減額	2,233	898	△ 1,335

現金・現金同等物の 四半期末残高	16,970	18,765	1,795
---------------------	--------	--------	-------

《主な内訳》

◇営業CF: 税前利益+42億円、売上債権の増加△18億円、たな卸資産の増加△33億円、仕入債務の増加+8.1億円

◇投資CF: 固定資産の取得△1.9億円、投資有価証券の取得0.5億円

◇財務CF: 長短借入金の増加+20億円、自己株式の取得△7.7億円、配当金の支払△7.2億円

■通期業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	167,000	4,000	3,800	3,000	145 71
今回修正予想(B)	185,000	6,500	6,300	4,400	216 19
増減額(B-A)	18,000	2,500	2,500	1,400	-
増減率(%)	10.8	62.5	65.8	46.7	-
21/3期実績	165,413	3,806	3,603	3,064	148 91

《修正の理由》

◇半導体需要の拡大及び設備投資の活発化を背景に、電子部品事業においては自動車、産業機器、通信機器を中心に、電子・機器事業においては半導体製造関連が好調に推移していることから、売上高が前回予想を上回る見込み

◇売上高の増加に伴う利益増に加えて、主に電子部品事業の利益率の改善により、各段階利益も前回予想を上回る見込み

■配当予想の修正

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第2四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
前回予想	30 00	30 00	60 00	—	41.2	—
今回修正予想		60 00	120 00	—	55.5	—
当期実績	60 00					
前期実績 (2021年3月期)	25 00	35 00	60 00	1,235	40.3	2.2

◇2021年3月期期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 特別配当 10円00銭

《修正の理由》

◇中期経営計画「Change & Co-Create 2024」の期間中は、総還元性向100%を目標とした株主還元を基本方針とする

◇2022年3月期通期連結業績予想に基づき、第2四半期末配当については1株当たり普通配当 60円とし、期末配当についても、普通配当を1株当たり60円とする予定。これにより年間配当は1株当たり120円となり、連結配当性向は55.5%の見込み

本資料にて記載されているデータ及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変化する可能性があります。従いまして、本資料は記載された目標・予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

< IRに関するお問合せ先 >

経営企画部 tel.03-3225-8931